

科目番号	6	科目名	歴史からの問い																																																	
英文科目名																																																				
大学・短期大学名	滋賀		大学																																																	
連絡先	滋賀大学学務課総務係																																																			
	TEL :	0749-27-1017	FAX :	0749-24-5122																																																
担当教員	坂野 鉄也 (経済 学部 教授)																																																			
実施方法	対面授業 遠隔授業 対面・遠隔併用																																																			
教室名	第5講義室	会場	彦根キャンパス																																																	
授業期間	2023年4月7日(金)～2023年7月21日(金) <毎週金曜日> 2 時限・講時 10 : 30 ~ 12 : 00																																																			
超過時の選考方法	書類により選考																																																			
成績評価方法	定期試験(筆記)			%																																																
	レポート試験(中間・期末)	100		%																																																
	平常点(出席・授業態度)			%																																																
	その他()			%																																																
別途負担費用	なし		あり()円																																																	
その他特記事項	<p><講義概要・到達目標></p> <p>【授業の目的と概要】 本講義では、近代日本が「西洋」なるものをどのように受容したのかというテーマのもとに、1947年以前の古い教育制度における経済学教育を事例として扱います。近代日本における学問とは西洋の学問であり、西洋から輸入されたものです。その輸入された学問を教育のなかにもどのように取り入れていったのかを学ぶことで、学問を相対化する機会が得られるでしょう。そのため、本講義は共通教養科目ですが、1、2回生よりもすでに大学で学んだ経験を持つ3、4回生に向けています。</p> <p>【授業の到達目標】 授業の中で提供される情報を自らの経験に照らして深く理解したうえで、自らのこれまでの学問体験を相対化することを目標とします。</p> <p>【事前学習・事後学習など授業時間外の学習】 本講義以外の講義や演習での学習、読書等を通じた自習活動のいずれの機会においても、自らが学んでいる学問とはいかなる経緯で「いま・ここ」にあるのかを考えてください。</p> <p><授業スケジュール></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>月日</th> <th>テーマ・キーワード</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>4月7日</td> <td>オリエンテーション: 講義概要とレポートの書き方</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>4月14日</td> <td>イントロダクション: 1947年以前の学校教育制度</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4月21日</td> <td>日本における経済学の受容Ⅰ: 幕末・維新时期</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>4月28日</td> <td>日本における経済学の受容Ⅱ: 維新後</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>5月12日</td> <td>教員養成</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>5月19日</td> <td>普通教育と実業教育</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>5月26日</td> <td>教育対象としての経済学Ⅰ: 普通学</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>6月2日</td> <td>教育対象としての経済学Ⅱ: 専門学 帝国大学</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>6月9日</td> <td>教育対象としての経済学Ⅲ: 専門学 高等商業学校</td> </tr> <tr> <td>10</td> <td>6月16日</td> <td>高等商業学校における普通教育と専門教育Ⅰ: 専門教育以外の教育、外国語教育</td> </tr> <tr> <td>11</td> <td>6月23日</td> <td>高等商業学校における普通教育と専門教育Ⅱ: 高等商業学校の普通教育</td> </tr> <tr> <td>12</td> <td>6月30日</td> <td>商学と経済学</td> </tr> <tr> <td>13</td> <td>7月7日</td> <td>総力戦体制下での高等商業教育</td> </tr> <tr> <td>14</td> <td>7月14日</td> <td>コンクルージョン: 高等商業学校と帝国大学における経済学教育</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>7月21日</td> <td>エピローグ: 国民形成としての教育</td> </tr> </tbody> </table> <p><教科書・参考書> 講義に関連する参考文献は講義中に紹介する。</p>				回	月日	テーマ・キーワード	1	4月7日	オリエンテーション: 講義概要とレポートの書き方	2	4月14日	イントロダクション: 1947年以前の学校教育制度	3	4月21日	日本における経済学の受容Ⅰ: 幕末・維新时期	4	4月28日	日本における経済学の受容Ⅱ: 維新後	5	5月12日	教員養成	6	5月19日	普通教育と実業教育	7	5月26日	教育対象としての経済学Ⅰ: 普通学	8	6月2日	教育対象としての経済学Ⅱ: 専門学 帝国大学	9	6月9日	教育対象としての経済学Ⅲ: 専門学 高等商業学校	10	6月16日	高等商業学校における普通教育と専門教育Ⅰ: 専門教育以外の教育、外国語教育	11	6月23日	高等商業学校における普通教育と専門教育Ⅱ: 高等商業学校の普通教育	12	6月30日	商学と経済学	13	7月7日	総力戦体制下での高等商業教育	14	7月14日	コンクルージョン: 高等商業学校と帝国大学における経済学教育	15	7月21日	エピローグ: 国民形成としての教育
回	月日	テーマ・キーワード																																																		
1	4月7日	オリエンテーション: 講義概要とレポートの書き方																																																		
2	4月14日	イントロダクション: 1947年以前の学校教育制度																																																		
3	4月21日	日本における経済学の受容Ⅰ: 幕末・維新时期																																																		
4	4月28日	日本における経済学の受容Ⅱ: 維新後																																																		
5	5月12日	教員養成																																																		
6	5月19日	普通教育と実業教育																																																		
7	5月26日	教育対象としての経済学Ⅰ: 普通学																																																		
8	6月2日	教育対象としての経済学Ⅱ: 専門学 帝国大学																																																		
9	6月9日	教育対象としての経済学Ⅲ: 専門学 高等商業学校																																																		
10	6月16日	高等商業学校における普通教育と専門教育Ⅰ: 専門教育以外の教育、外国語教育																																																		
11	6月23日	高等商業学校における普通教育と専門教育Ⅱ: 高等商業学校の普通教育																																																		
12	6月30日	商学と経済学																																																		
13	7月7日	総力戦体制下での高等商業教育																																																		
14	7月14日	コンクルージョン: 高等商業学校と帝国大学における経済学教育																																																		
15	7月21日	エピローグ: 国民形成としての教育																																																		